



姉妹都市、友好都市との 縁を深め、歴史を知る旅

▲姉妹都市提携10周年を記念して川崎市から
リエカ市に贈られた、圓錐勝三作「友情」

二都物語

今年、川崎市とクロアチア・リエカ市との姉妹都市締結から40周年、オーストリア・ザルツブルク市との友好都市締結から25周年の節目の年に当たります。

リエカ市は、川崎市と最初に姉妹都市になった人口約15万人のクロアチア共和国最大の港湾都市です。アドリア海に面した風光明媚な保養地として知られ、また、石油化学、造船、製糸業が発達した工業都市であると同時に、文化都市でもあります。

ザルツブルク市は、人口はリエカ市と同規模の15万人でオーストリアのほぼ中央に位置し、昔からヨーロッパの交易路の中心として栄えた町です。ザルツブルクが世界的に名高いのは、景色が比類なく美しいこと、古都の薫り

にあふれる建造物の姿が魅力的であること、そしてモーツァルトの生誕地であることによります。

今回、私たち川崎市民交流団24名はこの二都市を訪れました。リエカ市では、今後10年の姉妹都市の交流に関する覚書締結の場に立ち会い、ザルツブルク市では2011年の東日本大震災の時に被災した「ミューザかわさきシンフォニーホール」修復支援へのお礼として行われた、桜の植樹セレモニーを見届けてまいりました。

距離と時間を超えて

日本とクロアチアは直線距離で約9,500km、オーストリアとは約9,300km。今回は飛行機を使って乗り継ぎを含め約20時間もかかった遠隔の地ですが、これだけの長い間



▲地元紙で紹介された市民交流団の訪問
(提供：在クロアチア日本大使館 中島様)



▲リエカ市の船上レセプションでも「さくらさくら」を合唱



▲「大理石の間」で福田市長と
◀ミラベル宮殿（ザルツブルク市庁舎）



▶NPO法人「誠クローアチア・日本協会」と
ザグレブ大学生と交流
(クローアチアの首都・ザグレブ市にて)



関係が続いてきたのは、双方の関係者の地道な交流の賜物であると思います。

リエカ市では締結のセレモニーだけではなく、市役所前に川崎市を紹介するポスター写真をずらりと並べて展示しており、市民が興味深そうに見ながら、中には「カワサキ？」と声をかけてくる人もいました。また、港湾都市らしく船上で催された歓迎レセプションでは、交流団が「さくらさくら」を合唱し拍手を浴びました。セレモニーの様子は地元紙で大きく報じられ、リエカ市民にも川崎市との関係を改めて知ってもらう良い機会になったことと思います。

ザルツブルク市では、式典会場の市役所の建物本体が「ミラベル宮殿」であることと、それに隣接する美しい庭園公園が映画「サウンド・オブ・ミュージック」の舞台で、映画のシーンが目の前にあるということに団員のテンションはいやが上にも盛り上がりました。豪華な応接間(大理石の間)でのセレモニーや次の間のレセプションでは東の間

のタイムスリップ気分を味わうことができたのではないのでしょうか。

それぞれの「これまで」、そして「これから」

今回はこれら2都市だけでなく、活動初日にクロアチアの首都ザグレブでの学生たちとの交流のほか、クロアチアからオーストリアにバス移動する途中に、国境で入国審査を受けて入ったスロベニアの首都リュブリャナ、最後に立ち寄ったオーストリアの首都ウィーンのそれぞれに美しく歴史を感じさせる街並みも見てきました。ヨーロッパの国々がかつて統合や分裂を繰り返してきた事実を大切にしつつ、課題を抱えながらも未来に向かって発展していこうとする人々の息遣いを身近にして、ガイドブックや教科書を見ただけではわからない面を知った、内容の濃い実質6日間の旅でした。

(文：協会多文化共生課長)



▲市民交流団から記念品贈呈
(紅葉の工芸盆栽と川崎市の浮世絵)



◀ミラベル宮殿前の公園にて、
植樹された桜と。



▲リエカ市庁舎の前で、川崎の写真を見る
地元の人と市民交流団団員



福田市長とヴォイコ・オベルスネル市長
(リエカ市庁舎で)

姉妹都市提携:1977年6月23日 リエカ市(クロアチア)

クロアチア共和国西北部に位置するリエカ市は、アドリア海に面するクロアチア最大の港を持つ重要な産業・工業都市です。また大学をはじめ科学研究所や多くの文化施設がある、教育や文化の中心でもあります。「リエカ」とは「川」という意味です。

～姉妹都市提携のきっかけ～
1976年4月、当時の伊藤市長が世界大都市市長会議(イタリア・ミラノ)に出席した際、ユーゴ常設市町村会議で、姉妹都市交流について意見交換を行った結果、リエカ市を紹介されたことから姉妹都市を結ぶことになりました。

姉妹都市提携:1992年4月17日 ザルツブルク市(オーストリア)

「北のローマ」「芸術の都」という愛称を持つザルツブルク市は、アルプスの北山麓にある、豊かな自然と独自の文化を持つ美しい都市で、1997年には旧市街地がユネスコによる世界の文化遺産および自然遺産リストに登録されました。モーツァルト生誕の地として毎夏音楽祭が開催され、世界中から音楽ファンが訪れています。

～姉妹都市提携のきっかけ～
世界的に「音楽の都」として知られる文化都市であるザルツブルク市と、ハイテク工業都市川崎市との間で、新しいタイプの文化交流を求め、友好都市を結ぶことになりました。以来、音楽文化を中心とした交流が続いています。

